

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2009年5月号 (No. 5)

平井会計事務所 税理士 平井満広
〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
芝浦アイランドエアタワー1704号
電話:03-3452-7082 Fax :03-6303-3350
Mail:hirai_tax@max.odn.ne.jp

在庫削減の極意は「ため過ぎない、つくり過ぎない、買い過ぎない」

突然ですが、なぞなぞです！

「増えたら苦しくて減ると楽なのに、大切なものは？」
まさきに“在庫”が浮かんだら経営センスあり!?
今回は在庫について一緒に考えてみましょう。

◆在庫とは

会計では在庫を棚卸資産とよびます。棚卸資産とは「未使用、未完成、未販売の販売目的の資産」のことをいいます。主に次の様な区分があります。

- ①商 品：販売目的で外部から購入した棚卸資産
- ②製 品：販売目的で自社加工した棚卸資産
- ③仕掛品：加工途中の製品で販売できない棚卸資産
- ④原材料：加工目的で外部から購入した棚卸資産

決算書などでは棚卸資産の残高が増えることを「在庫が増えた」、減ることを「在庫が減った」といいます。

残高は原則、支払金額を積み上げて計算します。

◆在庫のデメリット

在庫が増えると次のようなデメリットがあります。

①資金繰りが悪化する

売れない期間が長いと在庫が増えます。買ったお金は先に払うのに売ってから入金されるまでの期間が遅いとそのあいだの資金繰りが悪化します。

②税負担が増える

在庫は「税務上の経費」になりません。お金は払ったのに経費にならないので税負担が増えます。

③将来の損失が増える

品質低下が早い、流行が短いといった在庫は保管期間が長いと、低価格での販売や廃棄をすることになります。そのため、当初見込んだ利益が出ない可能性があります。

④その他

数量や品目が増えると保管料が増えたり、管理の手間が余計にかかるといった問題が発生します。

◆シンプルに考える

在庫を減らすには「数量」を減らすのが一番です。

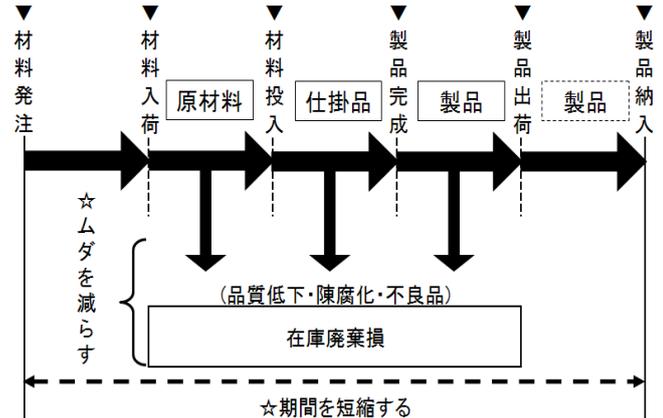
発注から入荷、加工、販売までの様々な過程で在庫は発生していますが、シンプルに2つの視点で考えます。

☆ムダを減らす

☆期間を短縮する

頭をシンプルにしたら今度は具体的に考えてみましょう。

〈製品の流れ〉



◆在庫を減らす3つのステップ

在庫数量を減らす方法は大きく3ステップあります。

①ため過ぎない

まず「ため過ぎない」から始めましょう。保管期間や売れ行きに応じたルールを決めて機械的にドンドン処分します。

		売れ行き	
		不振	堅調
保管期間	1年以上	廃棄	値下げ
	1年未満	値下げ	定価

②つくり過ぎない

「ため過ぎ在庫」が減ったら、次は「つくり過ぎない」ことを考えましょう。「速く、正しく、売れる分だけ」をキーワードに改善を検討し実行します。

改善のポイントは次のとおりです。

- 1) お客様の要望にすぐに応えるためにスピードを上げる
- 2) 売れない不良品を出さないためにテクニックを上げる
- 3) 余りを増やさないために注文予想のヒット率を上げる

③買い過ぎない

最後は「買い過ぎない」です。商品や原材料など外部から購入する在庫は発注がカギです。納期の確認を徹底し入荷日を正確に把握する、納期を短くして販売見込量の精度を向上させる、といった取組みを実行しましょう。

◆結果発表も忘れずに

もちろん、結果を検証するため実績を集計して全社に公表し、担当者の責任を明確にすることもお忘れなく！

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。